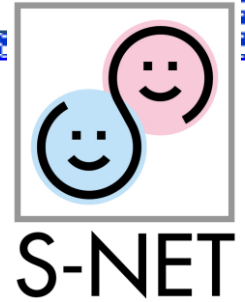


KSK湘南ふくしネットワーク オンブズマン(新聞) 広報52号



編集責任者：NPO法人 湘南ふくしネットワークオンブズマン 相川 裕
 事務所：〒253-0043 神奈川県茅ヶ崎市元町5-22 永井ビル3階
 電話・FAX：0467-85-6660 直通電話090-4937-4904 定価30円
 ホームページ：<http://www.npo-snet.com> eメール：info@npo-snet.com

第18回 定期総会のご報告

特定非営利活動法人 湘南ふくしネットワークオンブズマンでは、2018年5月19日(土)に、茅ヶ崎市総合体育館において、第18回定期総会を開催いたしました。

総会では、2017年度の活動報告・決算報告と、2018年度の活動計画・予算計画が説明され、いずれも承認されました。

今年度は、理事改選の年(任期2年)にあたり、任期満了にて小沼一弥さんが退任され、新たに増藤純さんが就任されました。他の理事は、再任されました。

改選後、直ちに臨時理事会を開催し、互選により、理事長に相川裕さんを選出いたしました。

新理事長を中心に、Sネットの活動を更に発展、充実させてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

8年間理事長を務めてくださった藤本直也さんに、感謝を込めて、記念品をお渡ししました。

理事・監事名簿(敬称略)		
役職	氏名(住所)[各50音順]	備考
理事長	相川 裕 (横浜市)	Sネット
副理事長	三谷 智百合 (藤沢市)	Sネット
副理事長	佐川 美智子 (茅ヶ崎市)	Sネット
理事	朝倉 新 (鎌倉市)	医師
理事	上杉 桂子 (茅ヶ崎市)	Sネット
理事	江崎 康子 (藤沢市)	Sネット
理事	大石 剛一郎 (川崎市)	Sネット
理事	小野田 智司 (藤沢市)	Sネット
理事	小野田 潤 (茅ヶ崎市)	地域
理事	高崎 義裕 (茅ヶ崎市)	Sネット
理事	高橋 健一 (茅ヶ崎市)	地域
理事	高山 直樹 (藤沢市)	Sネット
理事	角田 郁夫 (鎌倉市)	Sネット
理事	藤本 直也 (鎌倉市)	Sネット
理事	増藤 純 (茅ヶ崎市)	地域
監事	山下 和男 (横須賀市)	Sネット



理事長就任に当たって

このたび湘南ふくしネットワークオンブズマンの理事長に就任しました相川裕です。



当法人の前身は1997年に活動を開始しましたので(その後2001年にNPO法人化)、私どもの活動は昨年20周年を迎えました。私自身、1996年にスウェーデンに視察に行き、衝撃を受け、自分が年老いたとき、日本も安心してボケられるような社会になっていたらいいな、と思っていましたが、そんな、20年前に考えていたような「未来」には、残念ながらなっていないように思います。

けれども、私どもが「オンブズマン宣言」に支えられ、一人ひとりの当事者の方のお話を伺い、施設や行政とも協働して、虐待や権利侵害をなくし、当事者の方のWISH(願い)をなんとかしてかなえようと取り組んできた数々の経験は、かけがえのないものだと考えています。(権利擁護の実践を支えるものは、技術だけでも知識だけでも価値(思い)だけでもなく、それらを統合したものだ、といったらよいでしょうか…。)

多様性を尊重し民主的運営を旨とするこの法人にとって、理事長職は「飾り」のようなものですが、次の10年・20年に向けて、この法人が、小粒でもピリリと辛い山椒のような役割を果たし続けられるように、そして、関わってくださる方々が、時には重い現実についてみなで真剣に話し合い、活動を楽しみ、味わいあいながら続けられるように、役割を全うしたいと考えています。

暖かいご支援や(適度な)叱咤激励を、どうぞよろしく願いいたします。

特定非営利活動法人 湘南ふくしネットワークオンブズマン
理事長 相川 裕

理事長退任のご挨拶

2010年6月から法人理事長として8年間、関わらせていただきました。この間多くの方からご支援をいただきましたことを心より感謝申し上げます。

初代理事長の高山直樹氏より理事長を引き継ぎ、オンブズマン活動、法人後見活動、成年後見支援センターの運営を利用者の方々の権利擁護を目的に行ってきました。しかしながら、私たちがオンブズマン宣言に掲げている「ノーマライゼーション社会の実現」にはほど遠いのが現状で、新しい道を切り開かなければなりません。

そのためにはイノベーションが必要となります。相川理事長は弁護士であるとともに、市民の立場でSネット設立当初から関わっていただいています。Sネットが新しい道を切り開くべく、今回、理事長としての就任を決断されました。その情熱に敬意を表すとともに、しっかりと支えていきたいと思えます。

Sネットは常に利用者の権利擁護を推進していくために、自らも改革していきます。

理事 藤本 直也





オンブズマン活動から

水平線（身体障がいの方達の入所施設）へのオンブズマン訪問
（佐川美智子・高崎義裕）

茅ヶ崎市の北部、藤沢市と隣接する森の中に、地下の階を含めた3階建ての翔の会「空と海」があります。その1階部分に身体障がいの方達60名が暮らす入所施設「水平線」があります。

入り口を入ると通所の海賊船、「リハビリコーナー」、なんでも売っている小さいお店うみねこと、天末線という名前の診療所があり、広い廊下を歩いて行くとお風呂、そして自動販売機のあるフリースペースがあり、居住部分はスタッフルームを囲んで4つのグループスペース（GS）に分かれています。GSにはアドリア海・地中海・エーゲ海・カリブ海という名前が付いていて、それぞれに15人の方々が個室と2人部屋に住んでおられます。

広い廊下を電動車椅子で散歩する方、ソファで休んでいる方、その中をスタッフ、家族、ボランティア、宅配便の人たちが行き来しているので、水平線は小さな街のような気がします。

毎月訪問する私たちオンブズマンですが、昨年末に海賊船で開かれた忘年会に初めて参加し、ケータリングのお寿司、ピザ、唐揚げ、サンドイッチ等々に旺盛な食欲を見せるメンバーの方達と、食事介助をする等の大勢のスタッフ、ボランティア、ご家族を見て、毎月の訪問ではお見かけすることがなかった方々と、その楽しむ様子を知りました。その後の訪問時に話しかける方々が増え、私たちに話しかけてくださる方々がとても多くなりました。

オンブズマンとゆっくり相談したい方にはその方の居室で伺います。発語の困難な方も多く、正確に聴き取るために何度も復唱しますが、介護の微妙な訴えを理解出来なかったことを遂に理解出来た時には、お互いにやったと笑顔になります。毎回の訪問で、メンバーの思いをしっかりと受け止めようとする私たちの熱意が信頼関係と共に私たちの理解度も育てていると感じます。

一人ひとりの身体障がいには違いがあります。出生時からの身体障がいもありますが、交通事故や脳梗塞などで中途障がいの方達も多くおられます。私たちオンブズマンは、「長く暮らして行くのだから、水平線が今よりもっと住みやすい施設になって欲しい、もっと良い介護をして欲しい、重い言語障がいがある仲間の云いたい事も代弁したい」という利用者の声を面談で聴き取り、施設に伝えて来ました。

「フレンズ会」という自治組織が昨年10月に実現して月一回開かれるようになりました。メンバーの熱意と、それに応える職員達によって実現したのですが、私たちオンブズマンの応援も力になったのではと思っています。メンバーが自分たちの言葉で歌詞を作り、忌野清志郎の曲を借りて、フレンズ会の歌が出来あがり。フリースペースに貼り出されています。

ほくたち わたしたち けんかしたね だけど なかなかおりできるし 兄弟だもん
ほくたち わたしたち スタッフとともに いつも生活を 楽しく やってきたもん

LA LA LA LA♪

ほくたち わたしたち やりたいことを したい しごとも したいし 自由になりたい
ほくたち わたしたち もっとよくしたい すみやすい 水平になるように 力をあわせ
ほくたち わたしたち この先ずっと 大事な 水平のみんなは 家族だもん

LA LA LA LA♪





エンパワ・サロン

～障がいのある人たちの居場所～

2年目に入ったエンパワ・サロンには毎回参加の方も増え、4月21日は3名、5月19日は4名、6月16日は2名の障がいのある方をお迎えして、スタッフとわいわいガヤガヤ楽しいひとときを過ごしています。

スタッフ以外にもこのサロンに関心のある市民に飛び入り参加していただいたりと、段々と「ごちゃまぜ感」のある賑やかな集まりとなっています。最近は男性群が、消費者問題や高齢者の運転、在宅介護といった「社会問題」を語り合ったりと、なかなか骨太な会話も増えています。

現在、茅ヶ崎市内には、親子サロン・サークルや高齢者メインの参加者で構成されるサロンが多数ありますが、障がいのある方、特に知的・精神・発達障がいといったコミュニケーションに困り感を持つ方々の集いやすい場所は限られています。でもどんな人にも、自分を表現したり、人とつながる機会や場所が必要です。

「このサロンをどんな風にしていったら良いと思う？」の質問に、「ジュリアナ東京♥」などというありえない回答も飛び交い(笑)、障がいのある方たちが回を重ねるごとにリラックスしていく様子を感じます。現在参加されている方の平均年齢はアラフィフということで、人生半ばの様々な経験や思いをみんなでも共有していくことも、このサロンの醍醐味かもしれません。

障がいがある人たちがその人らしくあるために、「対等な立場で」「共に語り合い」「お互いの思いを分かち合う」といった、当たり前のかかわりが大切だと感じます。彼らの“権利をまもる”ための「はじめの一歩」がこのサロンのような身近な活動ではないでしょうか？

「障がいのある人と話してみたいな」と思う皆さん、エンパワ・サロンに是非ご参加ください！

お気軽に参加ください！

参加スタッフ：三谷・上杉・その他

※お茶代もわがわがハンディをお持ちの当事者の方へ

エンパワ・サロンへのおさそい

皆さんで集まって、日頃思っている
色々なことを話してみませんか？

●趣味 ●仕事 ●勉強 ●将来のこと ●恋愛

その他、なんでもOKです！

お茶とお菓子を用意してお待ちしています。

※人数を知りたいので、ご参加の場合は電話のご連絡をお願いします。

- 日次：6月16日(土) 午後2時30分～4時00分
7月21日(土) 午後2時30分～4時00分
- 場所：NPO法人 湘南ふくしネットワークオンブズマン事務所
(JR茅ヶ崎駅北口より徒歩5分くらい)
電話0467-85-6660
- お茶・お菓子代：100円
- 連絡先：090-8478-1925(上杉)
- 主催：NPO法人湘南ふくしネットワークオンブズマン

今後のエンパワ・サロン開催予定：7/21(土) 14:30～16:00
 会場：湘南ふくしネットワークオンブズマン事務所 参加費：100円(茶菓子代)
 ※ご参加ご希望の方は、事前に090-8478-1925(上杉)までご連絡ください。

賛助会員入会のお願い

私たちは、ノーマライゼーション社会の実現を目指し、権利擁護活動を行っています。
 賛助会員としてご入会いただき、私たちの活動をご支援くださいますようお願い申し上げます。

◇賛助会員会費

- ・個人 年額 一口 1,000円 (一口以上)
- ・法人 年額 一口 5,000円 (一口以上)

◇ご入会の方法：郵便振替書により下記口座へ会費をお振込みください
 郵便振替口座番号：00210-9-75496
 口座名義人：NPO法人 Sネットオンブズマン

